

経済産業省の2つの政策資料に当社俯瞰図が掲載

VALUENEX 株式会社 (以下、当社) は、経済産業省が2026年3月および4月に公表した2つの政策資料において、当社の俯瞰図技術が知財・市場分析の活用事例として掲載されたことをご知らせします。

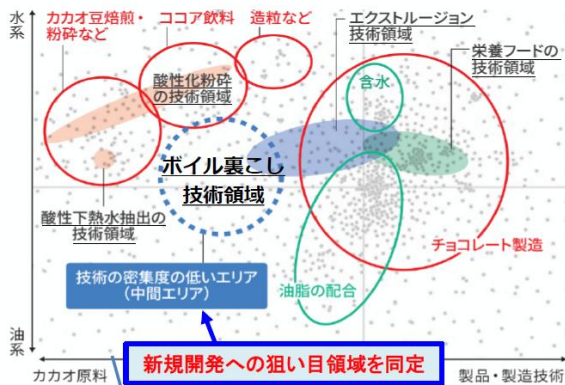
掲載されたのは、「第30回 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会 事務局説明資料」(2026年3月、P.39) および「経済産業政策新機軸部会 第5次中間整理(案) 参考資料集」(2026年4月、P.87) です。両資料の「競争優位性確保のための知財・市場分析の活用」において、明治ホールディングスおよび富士フィルムによる知財・市場分析事例の中で当社の俯瞰図が活用されています。

競争優位性確保のための知財・市場分析の活用

◆ 知財・市場分析を活用した、有望新規領域探索・パートナー候補企業の抽出。

有望新規領域探索

・知財・市場分析を実施し、カカオ関連技術は「原料関連」と「チョコレート製造」の領域(赤丸部分)に集中していることを発見。さらに、自社技術(黒字下線部分)をマッピングしたところ、自社技術の1つ「ボイル裏こし技術領域」が特許空白領域(青丸部分)と重なることを確認。この知見から、新規開発への狙い目領域を同定し、新素材・新商品の開発に成功。

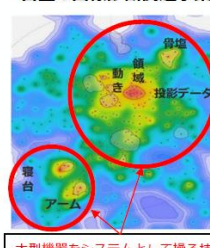


ドット1つが1件の特許を表す

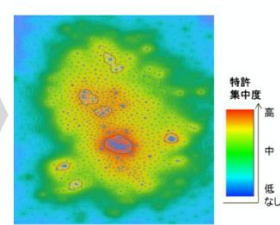
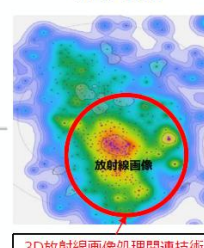
パートナー候補企業の抽出

・新規分野での有望なテーマ候補の導出や既存技術の応用検討を行うことにより、事業戦略の構築、有望なM&A先の選定に貢献。

日立的画像診断関連事業



富士フィルム



✓ 相互補完的な基幹技術の融合

出典：(明治ホールディングス株式会社 HP) 統合報告書2023、(LexisNexis HP) 知財情報からひも解く明治のROESG®経営
出典：(富士フィルムホールディングス株式会社 HP) 統合報告書2024、2023年10月12日メディカルシステム 事業説明会

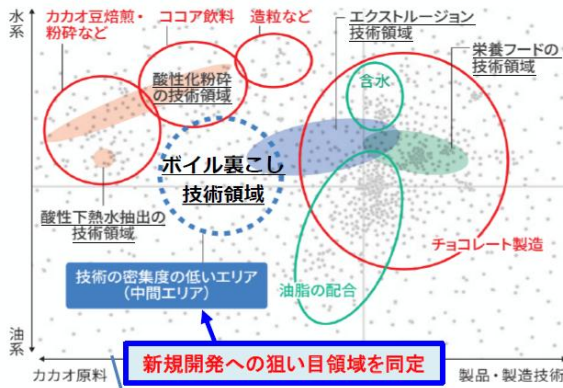
◆ 米独の77社を対象とした実証分析(“How to create commercial value from patents: the role of patent management” Ernst et al.,2016)によると、特許情報の活用(競合他社の技術アセットの監視、侵害予防調査、M&A等外部技術の評価、ライセンス先の探索)をしている企業ほど企業業績が良いとの結果。

競争優位性確保のための知財・市場分析の活用

◆ 知財・市場分析を活用した、有望新規領域探索・パートナー候補企業の抽出。

有望新規領域探索

・知財・市場分析を実施し、カカオ関連技術は「原料関連」と「チョコレート製造」の領域（赤丸部分）に集中していることを発見。さらに、自社技術（黒字下線部分）をマッピングしたところ、自社技術の1つ「ボイル裏こし技術領域」が特許空白領域（青丸部分）と重なることを確認。この知見から、新規開発への狙い目領域を同定し、新素材・新商品の開発に成功。



ドット1つが1件の特許を表す

(出所) (明治ホールディングス株式会社 HP) 統合報告書2023、(LexisNexis HP) 知財情報からひも解く明治のROESG®経営 (出所) (富士フイルムホールディングス株式会社 HP) 統合報告書2024、2023年10月12日メディカルシステム 事業説明会

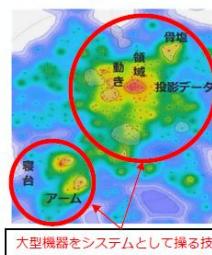
◆ 米独の77社を対象とした実証分析 (“How to create commercial value from patents: the role of patent management” Ernst et al., 2016) によると、特許情報の活用（競合他社の技術アセットの監視、侵害予防調査、M&A等外部技術の評価、ライセンス先の探索）をしている企業ほど企業業績が良いとの結果。

87

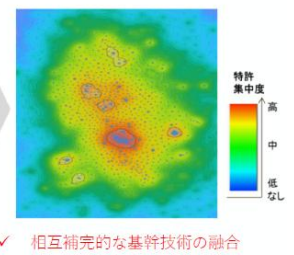
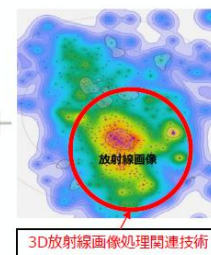
パートナー候補企業の抽出

・新規分野での有望なテーマ候補の導出や既存技術の応用検討を行うことにより、事業戦略の構築、有望なM&A先の選定に貢献。

日立の画像診断関連事業



富士フイルム



経済産業政策新機軸部会 第5次中間整理（案）参考資料集 P87

当社は引き続き、知財・技術情報の高度な解析を通じて日本企業の競争力強化と価値創造に貢献してまいります。

参照：https://www.meti.go.jp/shingikai/index_links.html

VALUENEX 株式会社について

VALUENEX は、不確実性の高い現代において、経営層の意思決定とイノベーション創出をデータドリブンで強力に支援する企業です。独自開発のアルゴリズムにより、特許・論文・社内文書など最大 10 万件のテキストデータを俯瞰的に解析。事業環境の全体像や技術の空白地帯（White Space）を精緻に可視化することで、M&A や事業ポートフォリオ再編、R&D 戦略の策定といった重要局面において、確かなエビデンスに基づく「大局観」を提供します。勘や経験だけに頼らない戦略的な意思決定を促し、企業の持続的な成長と新たな価値創造（イノベーション）の実現に貢献します。

【会社概要】

社名：VALUENEX 株式会社

本社所在地：東京都文京区小日向 4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷

代表取締役：中村 達生

<お問い合わせ先>

VALUENEX 株式会社 TEL:03-6902-9833

IR 担当：ir@valuenex.com PR 担当：pr@valuenex.com

事業内容： 情報解析による情報提供サービス業 ツールライセンス販売業

設立： 2006年8月

HP：www.valuenex.com

<お問い合わせ先>

VALUENEX 株式会社 TEL:03-6902-9833

IR 担当：ir@valuenex.com PR 担当：pr@valuenex.com